



2020年10月14日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 貴行  
(JASDAQ・コード 8704 )  
問合せ先 取締役 古橋 弘光  
(TEL 03-4330-4700 (代表))

## 海外子会社の清算及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、当社の連結子会社で、インドネシア共和国において商品先物取引事業を営むPT. PIALANG JEPANG BERJANGKA (以下「PJB」といいます。)について、清算に関する手続きを開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本件清算に伴い2021年3月期第2四半期連結会計期間(2020年7月1日～2020年9月30日)において、PJBで貸倒引当金繰入額61百万円及び事業整理損失引当金繰入額35百万円を特別損失として計上いたします。

また、当社個別決算において貸倒引当金繰入額74百万円を特別損失として計上いたしますが、個別決算における当該特別損失は、連結決算において全額消去されることから連結業績への影響はございません。

### 記

#### 1. 海外子会社(PJB)の清算の理由

当社は、インドネシア共和国(以下、「インドネシア」といいます。)の個人投資家向けに金先物取引等のコモディティ先物取引仲介事業を行なうことや、当社グループの中長期的な海外事業の拡充及び海外金融事業展開に向けた橋頭保として、2014年5月にPJBを設立し、同国の主要先物取引所であるインドネシア商品先物デリバティブ取引所(Indonesia Commodity and Derivatives Exchange(ICDX))のライセンスを取得し、同取引所の会員として、商品先物取引事業や当社グループのアジアにおけるビジネス構築を目指してまいりました。

しかしながら、事業開始以降、収益面で当初計画に未達の状況が続き、その後、当社グループの証券子会社や同国協業先との連携を強化しながら、インドネシアにおける外国為替取引のBtoB取引事業を増強することでグループの海外金融事業の収益化を目指してテコ入れを図ってまいりましたが、十分な成果はあげることができませんでした。さらに、今年に入り新型コロナウイルスの感染拡大の影響を懸念した同国での都市封鎖(ロックダウン)の実施など、事業活動上の様々な制約や、同国金融市場における投資活動の低迷などが重なり、同社を取り巻く事業環境は一層厳しくなりました。

今後、事業改善を図っていくことが困難な見通しとなった状況を踏まえ、当社取締役会で慎重に検討した結果、インドネシアにおける同事業から撤退し、当社グループの経営資源を国内の金融商品取引事業や金融システム開発事業に振り向けることが得策であると判断し、今般、PJBについては、インドネシアにおいて清算の手続きを開始することといたしました。

## 2. 清算する海外子会社（PJB）の概要

(1) 名 称	PT. PIALANG JEPANG BERJANGKA		
(2) 所 在 地	インドネシア共和国ジャカルタ		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 竹下 充		
(4) 事 業 内 容	インドネシア共和国における商品先物取引業		
(5) 資 本 金	22,250百万IDR (182百万円相当額)		
(6) 設 立 年 月	2014年5月		
(7) 大株主及び持株比率	トレーダーズインベストメント株式会社 94.9%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社子会社は当該会社の議決権の94.9%を所有しております。	
	人 的 関 係	当社の従業員が当該会社の代表取締役を兼務しております。	
	取 引 関 係	当社から当該会社に資金の貸付けを行っております。	
	関連当事者への該当状況	当該会社は当社の連結子会社であります。	
当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (注) (単位：百万円)			
決 算 期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
純 資 産	△0	43	32
総 資 産	122	113	141
1株当たり純資産(円)	△4,179	111,347	73,579
売 上 高	4	3	0
営 業 利 益	△16	△21	△23
経 常 利 益	△19	△22	△25
当 期 純 利 益	△19	△22	△25
1株当たり当期純利益(円)	△85,603	△57,263	△57,728
1株当たり配当金	-	-	-

(注) 上記経営成績及び財政状態は、現地の財務諸表を基に日本会計基準及び当社の会計期間に修正を行った後の数値を記載しております。

## 3. 清算の日程

本件決議以降、インドネシアにおいて、同社の清算手続きを開始いたします。同国の諸法制に基づく必要な清算手続きが完了（終了）するまでは、約8ヶ月程度の期間を要するものと見込んでおります。

## 4. 今後の見通し

本件清算に伴う2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)における連結業績への影響は、特別損失として計上する貸倒引当金繰入額61百万円及び事業整理損失引当金繰入額35百万円となりますが、2020年5月14日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想について修正はございません。

今後、開示すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以上